

「歴史と伝統、引き継ぐ」

平成高 30周年記念し式典



新たな歴史、伝統の構築を誓った記念式典

横手市平鹿町の平成高校（佐藤嘉彦校長、240人）の創立30周年記念式典が、同校体育館で行われた。生徒や学校関係者ら約320人が出席して歩みを振り返り、日々成長を刻んでいくことを誓った。

佐藤校長が「新しい時代を主体的に生きるたくましい生徒を育てる」という創立当初からの教育指針は、変わることなく受け継がれている。さらなる歴史づくり、魅力ある学校づくりに向け、新たな気持ちで取り組んでいく」と式辞を述べた。

生徒会長の福原颯太さん

（3年）は「知識や技術を学び、校友と切磋琢磨して、毎日新しい自分への成長を感じている。今後も勉強、心身の鍛錬に励む決意だ。歴史と伝統を積み重ね、次世代に引き継いでいく」とあいさつした。

元校長と同窓会活動などに尽力した計14人に感謝状、永年勤続者12人に表彰状をそれぞれ贈った。

同校は1994年、平鹿高と横手東高が統合し開校した。今年3月までの卒業生は3908人。

式典は5日に行われた。

（藤田 同）